

GIGA スクールアンケートへの協力の御礼と今後の施策について (関係大臣共同メッセージ)

本年7月に、GIGA スクール構想に関するアンケートを児童生徒、教職員、保護者等の教育関係者の皆様に実施させていただき、実に**児童生徒から約 21.7 万件、大人から約 4.2 万件**もの御意見をいただきました。お忙しい中、協力くださった方々には厚く御礼申し上げます。

9月1日のデジタル庁の設置も契機として、教育のデジタル化を政府一丸となって強力に進めていきますが、その目的は、**デジタルを手段として、加速度的に変化する社会の創り手となる子供達の可能性を解き放ち、多様な子供達一人一人のニーズに合った教育を提供**することです。また、現下の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の局面において、ICT を活用した遠隔・オンライン教育は、「**非常時にあっても子供達の学びを止めない**」ために極めて重要です。

今回、教職員の皆様からは、**学校のネットワーク環境や教職員の ICT 活用のサポート、教職員端末、活用事例の発信**等について多くの御意見をいただきました。特に、ICT に詳しい先生が他の先生方などからの問合せを一手に受け、負担になっているという切実な声については、文科省において「[GIGA スクール運営支援センター整備事業](#)」として、学校現場に対する組織的な支援体制の構築に向けた予算を概算要求しています。また、総務省において**条件不利地域のネットワーク環境の整備**を促進しています。さらに、活用事例については文科省「[StuDX Style](#)」や経産省「[未来の教室](#)」ホームページに加え、**今回のアンケートで得られた工夫事例をデジタル庁ウェブサイト**で公表しておりますので、是非御参考にしていただければ幸いです。

また、保護者の皆様からは、**児童生徒の情報モラルや端末の持ち帰り、家庭との連絡のデジタル化**等について多くの御意見を頂きました。今後、文科省において、端末の持ち帰りも含め、1人1台端末の円滑な利活用の促進に向けて学校現場や**保護者が留意すべき事項等をまとめたガイドライン等を、可能な限り早期に取りまとめて公表**します。また、文科省や総務省において、児童生徒の情報活用能力やインターネット・リテラシーに関する調査結果も踏まえ、**情報モラルやリテラシー向上**に取り組みます。

その他の皆様からも、**環境整備から授業内外での活用、学習コンテンツ、意識改革**に至るまで、様々な御意見をいただきました。特に、まずは国がデジタル化について範を示すべきという点については全く仰るとおりであり、危機感を持ち、「**隗より始めよ**」の精神で取り組みます。

これらを含めた今後の施策の方向性や主な御意見への考え方等については、[デジタル庁ウェブサイト](#)で掲載しておりますが、全ての課題が一斉に解決できる訳ではなく、学校のネットワーク環境の更なる改善や教職員端末の整備・更新をはじめ、**引き続き検討を重ねるべき事項**もあります。これらについては、**関係省庁が「ワンチーム」となって、教育関係者の皆様の声も聴きながら粘り強く検討**を重ね、皆様からの真摯な声にしっかりと応えていきたいと考えております。

子供達一人一人のニーズに合った教育の実現や非常時における学びの保障には、教職員や保護者のみならず、**各自治体、民間事業者など幅広い関係者**による、**ハード・ソフト・人材一体となった環境整備**が不可欠です。これからも、より一層の御協力を心からお願い申し上げます。

令和3年(2021年)9月3日

デジタル大臣 平井 卓也

総務大臣 武田 良太

文部科学大臣 萩生田 光一

経済産業大臣 梶山 弘志